

- ▶ 福井県内では、市町の林務担当職員は福井市を除き林業の専門職員ではなく、農業や水産業など他の業種も併せて担当しているため、林業関係の業務に専念できる環境がなく、事業の予算化や事業執行が負担となっている。
- ▶ このため、令和元年度より市町の森林管理を円滑に進めることを目的に、地域林政アドバイザーを派遣するとともに、市町、林業事業者を構成員とする地域協議会を開催し、市町への指導体制の強化を図った。
- ▶ 令和4年度からは、効率的な事業化の推進等を図り、より実務的、実践的な課題を解決するため、市町向けに行政書士、土地家屋調査士等による研修会等を行い、指導、支援体制をさらに強化していく。

□ 事業内容

市町森林整備推進支援事業

以下について、地域林政アドバイザーによる助言等を実施

- ・地域協議会等で、森林整備の進め方について助言
- ・市町の森林環境譲与税を活用した長期ビジョンの策定にあたり助言

【事業費】421千円（R3実績）（特別交付税、一般財源）

- 【実績】
- ・5市町で森林整備を進めるための長期ビジョンを策定
 - ・森林所有者の意向調査に取り組む市町が増加（8市町）
 - ・市町において、県からの提案事業を参考に、森林整備を進めるための事業を予算化



(地域協議会)



(長期ビジョン策定に係る検討会)

□ 工夫・留意した点

- ・林業行政の経験が乏しい市町職員に対し、地域の実情に応じた事業化に向け、市町の要望に応じて、個別指導等を実施

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	66,999千円
②私有林人工林面積（※1）	85,674ha
③人口（※2）	766,863人
④林業就業者数（※3）	631人

※1：「2020農林業センサス」より

※2：「R2年国勢調査」より

※3：「H27年国勢調査」より

- ▶ 本県の森林は県土の75%を占め、住宅の柱などに利用できる樹齢50年以上の人工林が全体の6割まで増加しており、森林資源の有効活用や新たな木材需要の開拓が必要となっている。このような中、60歳以上の林業従事者は全体の1/4を占めており、若い世代の林業担い手の確保が課題となっている。
- ▶ そこで、林業の魅力や森林整備の必要性を分かりやすく紹介し、林業の認知度向上・イメージアップを図るための動画を令和3年度に制作した。動画は、就業先の一つとして「林業」を検討してもらえるよう、職業系高校での林業紹介授業や県内外の就業相談会で活用するほか、YouTube等のSNSやテレビコマーシャル等で発信していく。

□ 事業内容

林業担い手確保・定着促進事業

- ・林業の担い手を確保するため、林業の認知度向上・イメージアップを図るための動画を作成

【事業費】 2,409千円（全額譲与税）

【実績】 ・職業系高校での進路相談等で活用
・YouTube等のSNS発信



(ふくい林業PR動画)

□ 工夫・留意した点

- ・林業事業体の若手従事者へのインタビューや作業風景を収録し、視聴者に対し、就業時のイメージが伝わりやすいよう、工夫をした。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	66,999千円
②私有林人工林面積（※1）	85,674ha
③人口（※2）	766,863人
④林業就業者数（※3）	631人

※1：「2020農林業センサス」より

※2：「R2年国勢調査」より

※3：「H27年国勢調査」より